

2022年度 青雲会第3回幹事会 議事要旨

2022.9.15

青雲会事務局

日 時 2022年9月8日(木) 18時30分～19時30分

場 所 大阪大学豊中キャンパス 法学部大会議室

出席者 18名 + オンライン参加 3名 合計21名 [懇親会はなし]

協議に先立ち、松本高等司法研究科長より今年の司法試験合格者について報告があった。高等司法研究科修了の受験者111人のうち短答式試験の合格者が95人、最終合格者は51人となった。

【協議事項】

(1) 2022年度総会について

西尾会長より、資料①～③に基づき来年度の青雲会総会について開催報告があり、参加のお礼が述べられた。

(2) 2022年度青雲懸賞論文について

西尾会長より、資料④⑤に基づき本年度の青雲懸賞論文の実施案について説明があった。本年度も、法学部門、政治学・経済学部門の2部門に分けて募集・表彰をする。

高橋副会長より、告知時期を11月1日より早められないかとの提案があり、西尾事務局長より、教務係と相談して検討するとの回答があった。

(3) 交流促進PTからの提案について

山西副会長より、資料⑥⑦に基づき下記2件について説明があった。

① OB・OG紹介業務について

準会員への就職支援の一助として、入会金納入済みの準会員に就職希望先のOB・OGを紹介するもの。

協力してくれるOB・OGのリストを作成し、青雲会ホームページで開示(企業名・年齢・性別・イニシャル)、事務局が、連絡を希望する準会員との取り次ぎをする。リストへの登録は最初は幹事及びその同期や周辺の会員から始める。リストが整い次第学生に告知し、来年度の新生生オリエンテーションでも紹介する。

企業側の都合やPRではなく学生のニーズに応じた情報の提供をめざすこと、キャッチーなネーミングでアピールすべき、制度の利用後のアンケートによるフィードバックが必要、などの意見が出され、本案の実施が承認された。

また、西田副会長より、OB・OGの勤務先のアルバイトの紹介をしてはどうかとの提案があり、西尾会長よりまた検討しようとの回答があった。

② 会報の電子化について

会報のペーパーレス化の推進・経費削減のため、会報の電子化を検討していく。

2023年会報発送時に、会報の電子化についてのアンケートを同封し、印刷物での会報の要不要を回答してもらう。「Google formzu」や年会費の振込用紙の備考欄を活用。年会費・運営賛助金の納入依頼や会員情報の更新依頼文については郵送を継続する。

「会報送付不要」と回答した会員は、2024年度以降、連絡文に掲載のQRコードを読み取ってホームページにアクセスし、会報を閲覧してもらうこととする。

活発な意見交換の後、段階的に会報をペーパーレス化していくことが承認された。

【報告事項】

(1) 第2回ゴルフコンペについて

山西副会長より、資料⑧に基づき9月24日の第2回ゴルフコンペの開催案内があった。

(2) 青雲塾案内について

山西副会長より、第76回、第77回青雲塾の開催案内があった。

第76回 11月19日(土)

「通天閣ジャンジャン横丁、飛田界限 ディープ大阪に行く」

講師 舟引康之氏(25期)

第77回 12月3日(土)

「銘酒緒方洪庵復活のためのクラウドファンディング」

講師 適塾記念センター准教授 松永和浩氏

(3) 新幹事の紹介について

本年度の総会で承認された新幹事からの挨拶があった。

35期 西川哲生さん

62期 菱田伊駒さん

69期 相田 大さん(オンライン参加)

☆ 次回幹事会 2022年12月8日(木) 18:30～

大阪大学豊中キャンパス 法学部大会議室にて

以上